

なやクリニック

◆◆◆ 子育て通信 ◆◆◆

「揺さぶられっ子症候群（乳児むち打ち症候群）」

頭がカクンカクンとなってむち打ち症になるように、乳幼児（特に首の据わっていない乳児）の頭を揺さぶることで、頭蓋骨の中の脳が振動して、脳挫傷（脳が潰れること）や頭蓋内出血が起こります。

強く揺さぶられた後、うとうと寝てばかりで母乳やミルクの飲まなくなったり、時にはけいれんをおこしたり、息が不規則で呼吸が止まりそうになったり、顔色が蒼白になったりしたら、揺さぶられっ子症候群を疑い、すぐ受診する必要があります。死に至ることもありますし、死ななかったとしても運動障害や発達障害や視力障害などの重い障害を残す可能性があります。

だからといって、普通に首を支えて抱っこして、よしよしとゆっくりと揺すってあやしたり、チャイルドシートに座らせて自動車に乗せることまで、不必要に怖がる必要はありません。でも首の据わっていない乳児の体を胸で支えて高い高いと上下に揺すったり、泣き止まそうと体を強く揺すって、首がカクンカクンとなるような行為は危険です。またチャイルドシートをしていても急発進・急ブレーキにならない運転を心がけましょう。

